

R3職員アンケートの結果

1=あてはまらない 2=あまりあてはまらない 3=ややあてはまる 4=よくあてはまる

R3.9月

項目		4	3	2	1	【平均】
1	学校教育目標や学校経営方針を学級経営に反映している。	7	5	0	0	3.6
2	教材研究を十分に行い、今年度の研究内容を意識した授業に取り組んでいる。	5	6	1	0	3.3
3	進んで学ぶ児童の育成を行うことができている。	3	8	1	0	3.2
4	教育活動全体を通じて、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むようにしている。	7	5	0	0	3.6
5	学校のきまりや月のめあてが徹底するよう指導を行っている。	4	7	1	0	3.3
6	日常の観察や聞き取り調査、定期的な「なかよしアンケート」の結果をもとに、いじめの未然防止に努めている。	8	4	0	0	3.7
7	他の職員と連携しながら、児童や保護者への生活指導や対応等を行っている。	8	4	0	0	3.7
8	地域や社会の様々な人と出会う機会を作り、人の生き方にふれる活動を仕組んでいる。	3	9	0	0	3.3
9	外遊びを奨励したり意欲的に「げんきタイム」に取り組めるようにしたりしている。	7	3	2	0	3.4
10	「早寝・早起き・朝ごはん」の指導や計画的な食育指導を行っている。	4	7	1	0	3.3
11	日頃から児童の危機対応能力を高める指導を行っている。	7	5	0	0	3.6
12	勤務時間を意識して仕事に取り組んでいる。	5	6	1	0	3.3
13	学級だよりを発行したり、保護者と連絡を取り合ったりして、児童の学習や生活の様子等の情報を共有している。	5	6	1	0	3.3
14	学習指導において、9年間の学びの連続性を意識して授業を行っている。	5	7	0	0	3.4
15	特別支援教育についての研修を深め、学級の指導にいかしている。	5	7	0	0	3.4

・15項目中8項目において、100%の職員が「ややあてはまる」「よくあてはまる」と肯定的な回答をしている。その中でも、6「いじめの未然防止」と7「他の職員と連携した対応」は、平均3.7で特にポイントが高く、職員がチームで児童を育む意識が高まっている。

・3「進んで学ぶ児童の育成」については、3.2ポイントと全項目中、評価が一番低かった。本校は、『主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりの工夫』を研究しており、今後も、全職員で主体的な学習者を育成していきたい。

・2「教材研究」、12「勤務時間を意識した仕事」については、多忙化対策検討委員会において、校務の精選や効率化をはかる手立てを話し合い、授業に向けた教材研究の時間が確保できるように工夫しているところである。今後も改善するよう取り組んでいきたい。